

令和6年度第2回伊勢市総合計画審議会 議事要録

◆日時 令和6年11月25日(月) 19:00～19:35

◆会場 伊勢市役所本庁舎東館5階 5-3 会議室

◆出席委員

下野功純委員、浦田宗昭委員、竹澤尚美委員、山川伸隆委員、森口留美子委員、河井英利委員、西村幸泰委員、藤原寛仁委員、齋藤平委員、寺和奈委員

◆欠席委員

中村千鶴子委員、伊坂弘子委員、村田典子委員、村田久実委員、伊藤良栄委員

◆出席職員

情報戦略局(情報戦略局 企画調整課長、同課企画調整係長、同主査)

◆議事概要

1 第3次伊勢市総合計画・後期基本計画の策定

- ・後期基本計画の策定について、事務局より説明

《意見・質問など》

- ・目標指標の設定について、これまでも各委員から種々意見が出ていたが、当局はどのように設定していく考えか。
→計画の体系化の観点から、個別計画で設定している目標値と異なることがないように整理するとともに、総合計画(個別計画の上位計画)として分野全体の状況を多角的に評価できるように適切な指標内容・指標数を設定していきたい。
- ・市民アンケート調査は、どのような形式・内容を想定しているか。
→回答者の偏りをなくするため、対象者を無作為抽出し、アンケート用紙を郵送する形式で、回答はオンラインでも可能とする。アンケート内容は、指標になるものが多くなる見込み。
- ・若者からの意見聴取の実施はどういう考えか。
→基本構想を策定する際に、小中学校児童生徒を対象としたワークショップで意見交流を行ったが、中期基本計画の策定の際には特に取り組みはなかった。「こどもまんなか社会」における当事者の意見を反映する考えに沿って、今回、若者の声を聴く機会を設けたい。アンケート形式だと若者は回答率が低いということもあり、対面によるコミュニケーションの中で若者の意見を引き出すという場を設けたい。
- ・若者からの意見聴取では、市内在住で市外の高校・大学に進学している人も対象にした方がいい。
→実施方法の検討にあたって参考にしたい。
- ・県外に出ていった大学生を対象として、伊勢に戻ってくるかという観点でも意見を聴いてみたい。
→令和6年度に転出者を対象にアンケートを実施した。どういう形で意見が聴けるか検討したい。
- ・企業に就職して1～2年の若者から意見を聴くのもいいのではないか。
→市民アンケートの対象者に含まれており、どこまでできるか検討したい。

- ・市民アンケートの実施にあたっては、幅広い世代から意見を把握することが大切であるので、紙ベースでの調査をお願いしたい。
→現在実施しているオンライン形式の市民アンケートでも 60 代以上が回答者の 3～4 割を占めており、高齢層からも意見を聴けているが、オンライン・アンケートに向かない設問もあるので、今回は紙ベースで考えている。
- ・多様な意見反映として外国人から意見を聴く機会はあるか。
→直接聴く機会としては考えていないが、関係団体等からの意見把握として、伊勢市国際交流協会からの意見聴取などを検討したい。

2 その他

- ・本日いただいた意見をもとに策定方針を最終調整して市議会へ協議する。
- ・現委員の任期は令和 7 年 6 月 19 日までとなっており、次の委員選任をお願いした際には、よろしくお願いします。女性委員の積極的な選任をお願いします。